

箱根組ニュース

第280号 2016年 3月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

城山湖の東、小松丘陵は小さな素敵な自然林。梅の花が春の到来を告げていました。

2月21日(日) 京王線新宿駅発7時26分の準特急高尾山口行きに乗車。調布で区間急行橋本行きに乗り換え、橋本駅に8時11分着。参加者は、太田、星野(幸)、川名、神山、星野(絵)、戸丸、橋本駅前で合流の井出の7名。

北口のバス停発8時59分の大戸行に乗車。9時25分、境橋バス停で下車。気持ちの良い青空の下歩き出す。バス通りを少し進み左に曲がる。小さな川の横で自己紹介と体操をする。川を眺めるとクレソンがまとまって生えているが水は昨日の雨で茶色く濁っている。クレソンが自生しているということは普段は澄んだきれいな川だということだ。

9時32分、再出発。川沿いの梅が5分咲きといったところか、白い花が青空に映えている。突き当りを右に曲がり、大きな交差点の小松の信号を右に曲がる。曲がったところにセブンイレブンがある。(曲がらずに車道をまっすぐ行けば城山湖2.8キロとの標識がある。)

9時47分、左に城山湖周辺案内図の

大きな看板。ここが小松丘陵の入口だ。

案内図を見て出発。左の小さな川にかかる小さな橋を渡る。左側に「龍龍山金刀比羅宮参道口」の石塔が立っている。

歩き出すとすぐに景色は一変する。タイムスリップしたように里山の道になり、数十年戻ったような錯覚さえ覚える。なんとも言えず心が落ち着く。右の石灯笼、赤土の道、土手、木々のたたずまい。畑越しの林や民家の景色。幼い頃の田舎の景色と同じ匂いがある。

少し進むと目の前に目に鮮やかな緑の竹林が現れる。息をのむ清らかな緑だ。右を見ると里の景色の中に大きな紅梅の木が青空の下で自己主張している。

9時52分、右、穴川の分岐を通過。少し進むと左に小松川の分岐。落ち葉が積もった優しい穏やかな道を進む。竹の青と針葉樹の緑が混在している。雑木林になり一層素敵な山道になる。

10時5分、小松城跡の看板前に到着。看板のある所は空堀の位置。小松城は室町から戦国時代の山城で八王子の片倉



城の出城であったと伝えられています。城の中心は丘陵の尾根で小松川と穴川が前後で自然の水堀となっていて、空堀が四つほど掘られていたようです。横に少し上がったところには稲荷神社のような小さな社がありました。

10時10分出発。アオキが緑の葉の中に真っ赤な実をつけていた。10分ほどすると左側にヒノキ林が現れる。神奈川の美林50選に選ばれているらしい。

また美しい自然林になってきた。10時25分、「評議原」に到着。ベンチがあり広く明るい尾根で気持ちがいい。観光案内によると「もみじの林」との

事で、新緑の時期はもちろん、葉が鮮やかな赤、橙、黄色に染まる秋には、絶好の紅葉スポットとして人気があるようだ。ここは、片倉城・津久井城・小松城の武将が、落城の相談した場所とも伝えられていきます。

ベンチで小休止。

現在の収支	
繰越収入	37565 円
	0 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	36165 円

切手残数
82円切手

180枚

10時45分、出発。休憩中に一緒に高尾山のご夫婦と少し一緒に歩く。ご主人は

ピアノの鍵盤の柄のカバンをご持参、奥様はかわいい動物柄の上着をお召で「素敵です」と声をかけると「今日はいいい人に出会った」などとなぜか喜んでもらえた。このあたりは桜の名称でもあるかのような。たくさん桜の木が並んでいる。

10時50分、金刀比羅宮の手前の車道に出る。登り口の看板にあった通り、小松丘陵とはゆっくり歩いて約45分ほどのコースということが体感できた。

すぐ左側には本沢梅園の梅が見ごろになっている。梅酒用の白加賀という梅で約千本植えられているらしいが、もぎ取りの時期に開園するらしい。一部道路の北側だけは自由に入れるようになっていて、とてもいい香りが漂っていた。陽ざしをいっぱい浴びた梅のトンネルは気持ちよかった。

10時55分、城山湖のコミュニティ広場に到着。ここで昼食予定だが、その前に

3月26日(土)は三ツ森北峰(1233E)です。

レギュラーコース 歩行5時間半

○大月駅から小菅の湯行きのバスで中風呂バス停下車。まず西原峠に登り、ここから尾根を南方方向に進みます。可能なら麻生山に登って長尾根を下ります。

○持ち物 昼食、ポットにお湯、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品(三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。

●申し込みは3月24日(木)までに

集合 3月26日(土)京王線新宿駅
6:57発 京王線 特急高尾山口行き
(前から3両目車内)

途中駅発

明大前 7:02 調布 7:11 府中 7:17
分倍河原 7:19 聖蹟桜ヶ丘 7:23
高幡不動 7:26 北野 7:32 めじろ台 7:37
高尾7:40着(乗り換え)7:46発
JR中央本線河口湖行き
大月8:28着(バス乗り換え)
小菅の湯行き9:00発 中風呂9:39着

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



城山湖の横の展望地に行くことにする。

へび・ハチ注意と書いてある金刀比羅宮方向の看板に沿って階段を登ってゆく。

今日一番の急坂だ。上の車道に出てさらに急な階段を登ってゆくと展望の良い山の上に出る。城山湖越しに高尾山の全容が見える。

11時7分、少し先に航空神社と掘られた小さな石の社がある。

金刀比羅宮の方に下って奥の院の横を過ぎると絶景ポイントに出る。東京都心のスカイツリーが新宿の高層ビル群と重なって見える。少し左には筑波山が霞んではいたがはつきりと確認できた。関東平野。パノラマビューポイントだ。橋本駅周辺がすごい高層ビルの町になっていることも改めて確認できる。

11時25分、金刀比羅宮に到着。お

参りをしてもう一段下る。

11時30分、コミュニティ広場に到着。日当りのいいテーブルとベンチのところで昼食開始。メインテーブルにはいつものように美味しいおかずが並び、川名さんは早速熱燗の準備。大鍋では豚汁の準備。今日の豚汁の材料は、豚肩ロース肉、ジャガイモ、大根、ニンジン、ゴボウ、糸こんにゃく、万能ねぎ。ごま油で豚肉とごぼうを炒め、火が通ったら水を入れて他の材料と一緒に火を通す。だし入りの味噌を入れたら、最後に万能ねぎを入れて出来上がり。風も無く暖かい早春の先取りだ。アツアツの豚汁ができる。と昼食は一層盛り上がる。熱燗も進んでしまう。すっかり盛り上がった昼食は約2時間のパーティーになった。

2時35分、出発。どなたかに写真は撮らないの？と言われるまではそんなことも忘れて帰ろうとしていた。気を取り直して広場の一角で記念撮影。

2時45分、再出発。登ってきた小松丘陵の南にある車道と別れてさらに西寄りの車道を下ってゆく。日が陰った道は少し寒々しいが、左側には全容の見えなかった梅園がよく見える。ずいぶんと広い梅園だ。青空の下に白梅が輝いているが、中には紅梅もチラホラ交じって色を添えている。車道をなだらかに下って

ゆく。

3時8分、集落が見えてくると手作りの看板がある。「普門寺・日本一のウラジロガシ」「都井沢」と書いてある。

3時15分、普門寺の大きな石塔が立っている。

初めて降りた場所で地理がよくわからず、スマホでバス停を検索し都井沢バス停に到着。時刻表を見ると3時29分発があるがすでに1分過ぎてている。でもバスは遅れることがあるので来るかもしれないと言って待つてみる。戸丸が少し先の道路状況を見に行こうとすると、やはり運よく2分ほど遅れた橋本駅行きのバスがやってきた。全員無事乗車。

4時前、橋本駅前に到着。井出さんとお別れし、

6名は駅

前の店で

打ち上げ。

この日は

星野（幸）

さんの誕

生日とい

うことで

みんな

お祝いを

した。



